

UTokyoNY Event by ICRR

# マルチメッ センジャーで 宇宙をさぐる

2022  
2.12 

9:30-17:00 (NY 時間)  
Zoom 会議と YouTube 中継の  
ハイブリッド開催  
(参加お申し込みが必要です)

東京大学宇宙線研究所は、さまざまな宇宙粒子線(電磁波、宇宙線、ニュートリノ、重力波)を観測し、宇宙と素粒子物理の解明に挑んでいます。これらの宇宙粒子線のことを、情報の運び手にたとえて「マルチメッセンジャー」と呼びますが、シンポジウムでは宇宙線研究所の研究者と海外から参加する研究者たちが、それぞれの立場からマルチメッセンジャーについて議論し、宇宙の謎に迫ります。(言語は英語のみ)

本イベントは、東京大学ニューヨークオフィスが2021年7月にリニューアルオープンしたことを記念し、宇宙線研究所がニューヨークと東京を結んで開催する特別シンポジウムです。

Credit: NASA / JPL-Caltech / UCLA

東京大学ニューヨークオフィス (UTokyoNY) イベント  
シンポジウム「マルチメッセンジャーで宇宙をさぐる」

応募期間 2月10日(木)まで  
お申し込みは特設ページへ



主催: 東京大学宇宙線研究所 (ICRR)  
協力: 東京大学ニューヨークオフィス (UTokyoNY)

お問い合わせ: 宇宙線研究所広報室

E-mail: [icrr-pr@icrr.u-tokyo.ac.jp](mailto:icrr-pr@icrr.u-tokyo.ac.jp)  
Tel: 080-4866-2631

 **UTokyoNY**  
The University of Tokyo New York Office

 **ICRR**  
Institute for Cosmic Ray Research  
University of Tokyo

UTokyoNY Event by ICRR

マルチメッセンジャーで宇宙をさぐる

# プログラム

日時: 2022年2月12(土) (ニューヨーク現地時間:GMT-5)

Zoom会議 + YouTube中継

|                  |                  |                                                  |                             |                              |
|------------------|------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 9:30- 9:35 [5]   |                  | 開会の言葉                                            | 佐川 宏行 教授                    | 宇宙線研究所                       |
| 9:35- 9:50[15]   |                  | ニューヨークオフィスより<br>その歴史と挨拶                          | 増山 正晴 理事長                   | 東京大学ニューヨーク<br>オフィス(UTokyoNY) |
| 9:50-10:00[10]   |                  | 来賓からの挨拶                                          | David N. Spergel<br>代表      | サイモンズ財団                      |
| 10:00-10:40[40]  | Keynote 1        | マルチメッセンジャー天文学<br>と宇宙線研究所                         | 梶田 隆章 所長                    | 宇宙線研究所                       |
| 10:40-11:10[30]  | 高エネルギー<br>ガンマ線   | スペイン・ラパルマにおける<br>ガンマ線の観測<br>チェレンコフテレスコープアレイ(CTA) | 手嶋 政廣 教授                    | 宇宙線研究所                       |
| 11:10-11:40[30]  |                  | 高エネルギーガンマ線と<br>マルチメッセンジャー天文学                     | Reshmi<br>Mukherjee 教授      | コロンビア大学<br>バーナード・カレッジ        |
| 11:40-13:30[110] |                  | 昼食休憩 /ポスターセッション                                  |                             |                              |
| 13:30-14:00[30]  | 最高エネルギー<br>宇宙線   | 米国ユタ州における<br>最高エネルギー宇宙線の観測<br>テレスコープアレイ(TA)      | 佐川 宏行 教授                    | 宇宙線研究所                       |
| 14:00-14:30[30]  |                  | 最高エネルギー宇宙線と高エネ<br>ルギーニュートリノの発生源                  | Glennys Farrar 教授           | ニューヨーク大学                     |
| 14:30-15:00[30]  | 超高エネルギー<br>銀河宇宙線 | チベット高原における<br>宇宙線の観測                             | 瀧田 正人 教授                    | 宇宙線研究所                       |
| 15:00-15:15[15]  |                  | コーヒーブレイク / ポスターセッション                             |                             |                              |
| 15:15-15:55[40]  | Keynote 2        | 重力波望遠鏡LIGOと重力波<br>実験についての歴史                      | Peter K. Fritschel<br>主任研究員 | MIT カブリ<br>宇宙物理研究機構          |
| 15:55-16:25[30]  | 重力波              | マルチメッセンジャーによる<br>重力波天文学の現状と将来展望                  | Peter Shawhan 教授            | メリーランド大学                     |
| 16:25-16:55[30]  |                  | 大型低温重力波望遠鏡<br>KAGRAの現状と今後の見通し                    | 田越 秀行 教授                    | 宇宙線研究所                       |
| 16:50-17:00[10]  |                  | 閉会の言葉                                            | 梶田 隆章 所長                    | 宇宙線研究所                       |